

歯学体～ゴルフ部女子団体で優勝！

第45回全日本歯科学学生総合体育大会(以下、歯学体)は、平成25年8月1日(木)から8月12日(月)まで日本大学歯学

部を事務主管校として行われました。前回大会に引き続き優勝は日本大学歯学部、準優勝は日

本大学松戸歯学部と日大の活躍が目立ちました。本学ではゴルフ部女子団体が優勝を果たし、同じく女子個人2位に2年井上唯衣さん、アーチェリー部新人戦男子3位に1年

三林涼さん、空手道部が男子団体3位と健闘しましたが、総合成績は22位でした。次回第46回歯学体は日本歯科大学新潟生命歯学部を主管校に開催される予定です。



ゴルフ部女子団体優勝



ゴルフ部女子個人2位



アーチェリー部
新人戦男子3位



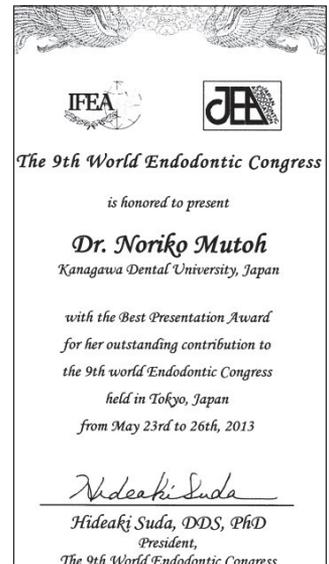
空手部男子団体3位

歯髄生物学講座 武藤徳子講師が第9回世界歯内療法会議(9thIFEA)で最優秀演題賞を受賞

2013年5月23～26日に東京国際フォーラムで開催された第9回世界歯内療法会議において、歯髄生物学講座 武藤徳子講師は「Cell dynamics in the process of pulpal healing following tooth transplantation」の研究発表を行い、最優秀演題賞を受賞した。9thIFEAは三年に

一回開催される歯内療法の世界大会で日本開催は今回が最初であったが、52ヶ国から1500名(海外参加者500名)以上の参加者を集め盛大に開催された。今大会の一般演題数は300題を超え、最新歯内療法領域の基礎研究と臨床研究が多岐にわたり発表された。武藤徳子講師の研

究は、今回の世界大会においても高い評価を受けBest Presentation Award(最優秀演題賞)を受賞した。



歯髄生物学講座 武藤徳子講師が第17回APECソウル大会で最優秀演題賞を受賞

2013年3月23、24日に韓国ソウル市で開催されたAPEC(アジア太平洋歯内療法学会)において、歯髄生物学講座 武藤徳子講師は「Donor-host interaction in the process

of pulpal healing following tooth transplantation」の研究発表を行い、最優秀演題賞を受賞した。APECは参加25ヶ国加盟国から二年に一回開催される歯内療法の国際学会で

あり、最新歯内療法領域の基礎研究と臨床研究が発表される。武藤徳子講師は第15回

APEC東京大会でも最優秀賞を受賞し、今回が二度目の受賞である。



日本歯科保存学会2013年度春季学術大会で2012年度優秀論文賞を受賞

平成25年6月27日(木)～28日(金)に福岡で開催された日本歯科保存学会2013年度春季学術大会において、う蝕制御修復学講座特別研究員飯塚純子先生が日本歯科保存

学会2012年度優秀論文賞を受賞されました。受賞論文は保存学雑誌55巻2号に掲載された「ブリーチング法を利用したエナメル質表層化脱灰病巣の再石灰化戦略 第1報

30%過酸化水素水による唾液成分タンパク質の化学的変化」であり、ハイドロキシアパタイト表面に吸着し結晶生長を抑制するといわれる一部の唾液タンパク質をより安全且つ効果的に除去するためにオフィスブリーチング材を使用するという斬新な基礎的

研究が評価されました。今後ますますの活躍を期待したいと思います。



解剖慰霊碑の建立

神奈川歯科大学資料館開館に併せ、本学の教育と研究に惜しみなく御尊体を御提供賜りました1,849柱の御霊に対し、深甚なる敬意と深い感謝の念を懐くとともに、平成16年度より神奈川県死因調査事務所において解剖させていただきまされた御霊の安らかなることを願い、7月31日(水)解剖慰霊碑を建立致しました。

建立に先立ち、5月2日(木)には高塚熊野神社から戸塚宮司様を祭主とし、本学から鹿島理事長、峯村事務局長、梅本KDC(株)社長をはじめ、業務に携わる事務職員解剖学教室員ら15名が出席し、地鎮祭

を執り行いました。

式典は厳粛に進み、戸塚宮司様の力強い声による祝詞奏上(のりとそうじょう)の際には不思議と涙が溢れてまいりました。長年の悲願でありました諸霊位が真に安息できる場が整った事に対する思いだったのかもしれない。閉式の辞が告げられた際には、とても晴れやかな気持ちになりました。(なお、この2日には石碑が間に合わず、塔婆での対応となりましたことを申し添えます)

迎えた7月31日(水)、朝7:00より塔婆から慰霊碑への魂入れの儀を執り行いました。慰霊碑の実物を見るのはこれが

初めてであり、シートが外されクレーンにより降ろされた碑は想像を超える物でした。ピンクを基調とした品ある石面に加え、手が加えられていない自然な形という、こちらのリクエストに合致した素晴らしい出来栄でした。

工事関係者を含め20分程の儀を終え、塔婆を外し工事が始まりました。工事は順調に進捗し、午後1:00には終了しました。慰霊碑は自然な形で周囲に調和し、存在感ある佇まいは他に類を見ない碑であります。

なお、今回の建立工事では諸事情により慰霊碑周囲の整備が未完成であるため、碑に調和した花台・香立の設置を

早急に対応してまいります。また、「四季を通じて花を絶やさず、一日一度は線香を捧げるように」との宮司様のお言葉を実践してまいります。この解剖慰霊碑へのお参りは、ご遺族様は勿論の事、会員様・教職員の皆様もご自由に参拝して頂けますので、ご希望の方は総務課へご連絡下さい。



平成25年度「神奈川県警察協力歯科医研修会」開催される

平成25年度の研修会は2日間の日程で開催された。第1日目(講演)の受講者数は168名で、7月25日(木)に神奈川県歯科医師会館地下大会議室において開催された。第2日目の実習は7月28日(日)に本学実習棟3階法医学実習室及び解剖棟において開催された。受講者数は145名で、実習室では「デジタルX線撮影

と口腔内写真撮影実習」、「生前/死後ファイルを用いたデジタルチャート作成と照合実

習」、「身元確認におけるX線撮影の重要性の説明と仰臥位パノラマX線撮影実習」を行い、解剖棟では実際のご遺体3体を用いて、デジタルエックス線写真撮影及び死後のデンタルチャートの作成並び

に口腔内写真撮影実技を行った。実習にあたり、解剖棟の使用を快諾して頂いた関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。

災害医療歯科学講座法医学歯科学 中川貴美子(文責)



1日目 講演



2日目 実習棟



2日目 解剖棟

新カリキュラム



総合教育部部長
平田 幸夫

新カリキュラムの実施と半年が経過して

大学改革の骨格をなす教育カリキュラムの抜本的な改革は、平成23年度から学長の強いリーダーシップと教職員との協働によって着実に準備が進められ、本年4月に本格実施に移行しました。改革を必要とした理由は、学内の要因としての国家試験の合格率の低迷、授業がわからないなどに端を発した欠席率の増

加、成績の低迷、休学、留年、そして退学という教育悪循環からの脱却と、文部科学省等から全国の大学に提示された「私立大学の質保証の徹底推進」、「予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ」などの外的要因への呼応でした。

そのような背景の中で、本学では4月から他の歯学系大学に先駆け、社会が認める望ましい歯科医師の輩出を目標に、前述の課題の解決も含め、臨床実習と連携をとりながら学士課程教育の質的転換に向けての改革を進めてきました。改革の要点は、①教育課程の体系化：教育内容を理解しやすく歯科咬合医療系、生命科学口腔病態系、社会と歯科医療系の3コースに分け、それぞれが有機的に連携できるように体系化(図1)、②新出席管

理システムの導入；出席率と学修成果との間に正の相関がみられることから欠席者の減少を目的に導入、③5学期制の導入；5学期に履修科目を少数配分し、特に成績低迷者への早期対応を目的に導入、④GPA制度の導入；成績評価の厳格化と効率的な学修指導の実現を目的に導入、⑤学修環境の整備；学生の能動的学修(アクティブラーニング)の支援と向上を目的に学修室の設置、全授業内容の収録、そのコンテンツの整理と閲覧環境(e-learning)(写2)を整備、そして⑥FDの推進；教員の教育力の向上を目的に推進、などです。

開始から半年余りでの適切な評価はまだ難しいものの、前述の②による授業開始ベル直後に行うクリッカー(写1)を用いた出欠席の確認では、授業開始時に着席していない学生は4年生までの平均で2名程度(高学年ほど良好)であり、開始時にはほとんどの学生が授業を受け

る態勢でいることが示されました。また⑤においても、閲覧室(e-learning)(写2)で収録コンテンツ(1年生～6年生用)を利用して能動的に学修する学生が徐々に増加していること、そして⑥においても、概ね月1回のペースで開催しているFDへの教職員の参加が積極的であることが示されました。

このように、4月に本格実施した教育改革は学生と教職員に一定の行動変容をもたらし、学生と教職員の中に着実に浸透し好スタートを切れたといえます。教育改革はこれからも継続して行われます。今後は、本来の教育改革が目標としている上段で述べた本学の課題の解決や重視しなければならない共用試験と国家試験の高合格率に向けて、これまでと同様に教員と職員の高い意識の下で協働して教育PDCAサイクルを着実に進め、目標を達成しなければならないと考えています。

神奈川歯科大学の
新たな学士課程教育

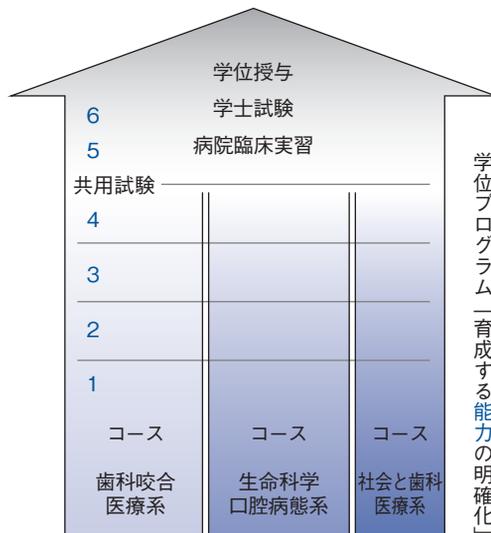
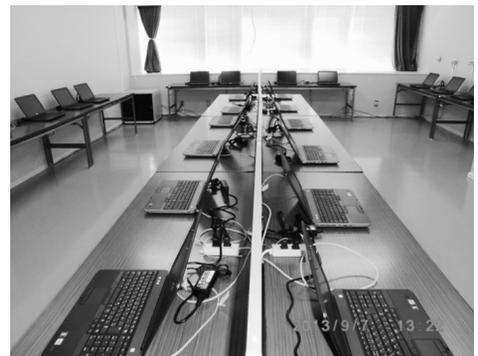


図1 教育課程のコース区分

学位プログラム「育成する能力の明確化」



写1 クリッカー



写2 アクティブラーニング室

公開講座のお知らせ

神奈川歯科大学 (受講料無料)

- ★10月16日(水) 「初めて覗く人体の神秘 ～解剖資料館の旅～」(定員 50名)
14:00～16:00 松尾雅斗(神奈川歯科大学大学院口腔科学講座准教授)／飯村彰(口腔科学講座講師)
- ★10月24日(木) 「転倒予防のためのコーディネーショントレーニング ～神経・感覚器を向上させましょう～」
14:00～15:45 川上正人(神奈川歯科大学体育学准教授)
- ★11月6日(水) 「大規模災害と身元確認 ～あなたがあなたであることの証明～」
14:00～15:45 大平寛(神奈川歯科大学大学院災害医療歯科学講座講師)

《お問い合わせ》神奈川歯科大学学術交流委員会 TEL 046-822-8807 URL: <http://www.kdu.ac.jp>

横浜クリニック

- ★9月28日(土) 「白内障手術と社会貢献度について」
14:00～15:00 原 直人(神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科学講座教授)
- ★10月26日(土) 「あごの発育と歯並びについて」
14:00～15:00 不島健持(神奈川歯科大学附属横浜クリニック高度先進口腔医学講座教授)
- ★11月9日(土) 「肥満と消化器疾患について」
14:00～15:00 渡邊浩之(神奈川歯科大学附属横浜クリニック副院長・医科部門長)

《お問い合わせ》神奈川歯科大学附属横浜クリニック地域医療連携室 TEL・FAX 045-313-5047(直通) URL: <http://www.hama.kdu.ac.jp>

横浜クリニック 企業健診と人間ドック

開院直後から行って来た健診業務も10年目を迎えました。過去9年3カ月の累計は、企業健診226社7,247名、人間ドックは、1,053名になります。昨年、地域医療連携室を立ち上げ、健診業務を一括にして行った事で企業健診及び人間

ドックも増加しております。(5年間の実績をグラフに示します。)

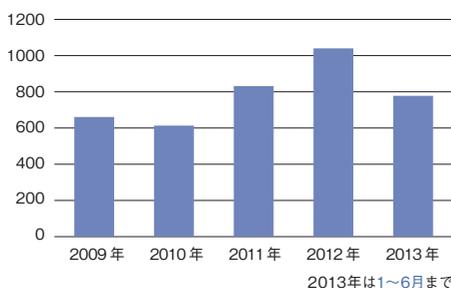
企業健診は、法定健診を主として行い、企業特有の健診の要望に加えて、従業員の方へオプションを提示し、従業員の方の希望に合わせて行っております。その結果、ドック

並に検査項目を行っている従業員の方もいます。この事は、普段医療機関で検査を受ける事が時間的に困難な事が多いので、健診のオプションを使って、気になる所を検査しようと考えている事を現している様です。人間ドックは、最大一日3名の少人数で行い、昨年新規に作成した上部消化管内

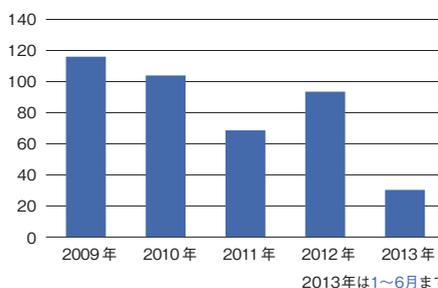
視鏡、頸部血管超音波、腹部超音波、尿素呼気などを中心とするコースの希望者が増えて来ております。又、大腸がんの検診のオプションとして、下部消化管内視鏡を加える受診者の方もいます。更に、新規検査として、血圧脈波(末梢血管の動脈硬化の検査)骨塩定量(骨密度の検査)などの検査をオプションとする受診者の方もいます。

今秋から分かり易い報告書を導入して、受診者の方により一層良い健診を提供する予定と共に神奈川県歯科医師国民健康保険組合の契約施設としても活動する予定です。

企業健診受診人数



人間ドック受診人数



短期大学部戴帽式

9月14日(土) 歯科衛生学科2年生、看護学科1年生の戴帽式が大講堂にて執り行われました。近年制帽の着用は廃止傾向にありますが、附属病院や医療機関での臨床実習を前に節目としたセレモニーです。式典は旧湘南短期大学校歌を

「第二校歌」とした校歌斉唱から始まりました。戴帽の儀では昭和36年当初から使用されているベートーヴェン作「月光」をBGMに、歯科衛生士教員・看護師教員より女子学生はナースキャップを男子学生は胸にチーフが授与されまし

た。とても厳かで厳肅な雰囲気でした。聖火伝達の儀ではナイチンゲールの聖火が学生一人ひとりに伝達され、会場中が温かな光に包まれました。聖火が灯される中、日々学ぶ姿勢を持ち続けることを誓いました。続いて、学長より訓示、来賓の方々より祝辞

をいただきました。新たな決意を胸に実習に取り組み、更なる成長を願います。



教学部だより

歯学部

PFA 国際歯学会奨学金贈呈 学生の表彰式

平成25年9月3日(火)、PFA 国際歯学会奨学金の表彰式が行われました。

PFA 国際歯学会日本部会より大浦清会長、本学から佐藤

貞雄学長、平田幸夫副学長、石井信之副学長、菅谷彰教学部教務担当部長、槻木恵一教学部学生担当部長が出席しました。

大浦会長よりPFAの歴史および奨学金授与の趣旨について説明がなされ、歯学部5年生の菊池赳夫さんに賞状と奨

学金が授与されました。

菊池さんから御礼と今後の

抱負が述べられ、最後に佐藤

学長より挨拶がなされました。



前列左から佐藤貞雄学長、歯学部5年菊池赳夫さん、大浦清会長、後列左から槻木恵一教学部学生担当部長、菅谷彰教学部教務担当部長、平田幸夫副学長、石井信之副学長

KDC-SAS プークットで 歯科検診実施

平成25年8月14日(水)~22(木)の9日間、歯学部1年生の2名がNPO法人神奈川歯科大学南東アジア支援団(KDC-SAS)のタイプークットでの活動に参加しました。現地では幼稚園・小学校・中

学校での健診や予防指導、また障害者学校での健診や歯磨き指導などを行いました。

参加した1年小林さんは「とてもいい経験をする事ができ、これから歯のことを勉強するのが楽しみになりました。」とコメントしていました。今回の活動経験を通して

自分が歯科医師を目指す意味を再度考える機会となり、また歯科医師のビジョンを広げ

ることができ大変貴重な経験となりました。



短期大学部

「海外事情Ⅱ」(台湾)研修

短期大学部のカリキュラムに基づき、平成25年度「海外事情Ⅱ」が8月9日(金)から13日(火)に実施され、参加学生は歯科衛生学科20名、看護学科2名合計22名でした。高雄医学大学では劉先生はじめ李先生、陳先生、学生の皆様に温かく迎えていただきました。始めに陳先生により「重金属

が口腔に及ぼす影響」の講演が行われ、その後両校の学生による学校および学科紹介のプレゼンテーションが行われました。次に少人数のグループに分かれての昼食、学校、病

院見学など親しく国際交流が行われ、時間は瞬く間に過ぎていきました。初めは緊張していた学生もスマホを使ったメモ用紙に漢字を書いたりしてすっかり打ち解けていきまし

た。また台北では「故宫博物院」「中正祈念堂」などを見学し、台湾の歴史や文化を知る素晴らしい機会となりました。引率教員：歯科衛生学科 石渡、井出(文責)



神奈川歯科大学短期大学部 アカデミックサポート委員会主催 生涯学習セミナー『歯科衛生士のためのリカレント講座 2013』開講

8月25日(日)、30名の受講者を迎え開講されました。長谷学部長の挨拶後、午前中の神奈川歯科大学大学院口腔衛生学講座、荒川浩久教授の『すぐ役立つ最新のフッ化物

臨床応用』では、わが国でのフッ化物応用のうち、オフィスユースとホームユースの具体的な術式をまじえての講義後、フッ化物配合歯磨剤の適正な使用方法、フッ化物洗口液の作成と洗口、歯磨き用フッ化物液の作成方法についての実習が行われました。午後は本学客員教授岩切明美先生の『歯周治療を確実に行う

方法とさまざまなメンテナンスの対処法』について、臨床ケースを用いた歯周治療のシステム、ブラッシングの考え方等の講義後、システムを

使用してのブラッシング指導が行われました。参加者は大変熱心に有意義な時間を過ごされました。アカデミックサポート委員会(文責)



教学部だより

大野陽平君 第68回国民体育大会(国体)出場の快挙!

平成25年度の第68回国民体育大会(国体)は、10月に東京都で開催されます。本学、歯学部4年生の大野陽平君(写真前列・左:11番)は、昨年、神奈川県成年代表メンバーに選抜されましたが、残念ながら控え選手での登録でした。しかし、この悔しさをバネに必死の練習を積み重ね、今回はレギュラーメンバーに選出されました。また今年は4年に一度の予選会で優勝しなければ国体に出場できないという厳しい条件付き。トーナメント戦で負けた時点で敗退となります。神奈川県チームは、8/24(土)、25(日)に横浜文化体育館で開催された関東ブロック予選に出場し、準決勝で、優勝候補の千葉県を80-71、決勝では栃木県を68-62で破り、見事国体出場を決めました。大野君以外は、実業団や体育学部の選手が中心。全国数ある歯科大の中でも、県の代表選手に選ばれることも大変な中、レギュラーメンバーとして国体出場を勝ち取るという快挙を成し遂げました。応援のほどよろしくお願い致します。

体育学川上正人(文責)



オープンキャンパス 2013年度日程

歯学部 オープンキャンパス 2013年度日程	
実施日	体験授業
10月12日(土)	福岡祭 ※個別相談のみ 12:00~15:00
10月13日(日)	福岡祭 ※個別相談のみ 12:00~15:00
11月17日(日)	入試対策講座
2014年3月16日(日)	新3年生対象

※詳細はホームページをご覧ください

短期大学部 オープンキャンパス 2013年度日程			
実施日	歯科衛生学科 体験授業	看護学科 体験授業	
2013年11月10日(日)	ちょっとだけ詳しくなろうインプラント	生活習慣病とは	
2014年2月16日(日)	体の深部体温はどのくらい? 発熱と低体温	体の音を聞いてみよう	
3月23日(日)	歯科衛生士の仕事	看護師の仕事	

※詳細はホームページをご覧ください

【歯学部学費改定のお知らせ】

2014年度入学生より 歯学部の学費が変わります。
 初年次学生納付金 850万円 ⇒ 395万円へ
 6年間の学費総額 3055万円 ⇒ 2700万円へ

平成26年度入試日程

2014年度入学試験実施一覧

歯学部歯学科 (定員 100名 男女)					
試験区分	試験日	合格発表	試験区分	試験日	合格発表
推薦1期(指定校)	11月3日(日)	11月5日(火)	一般1期	2014年 1月24日(金) 1月25日(土)	2014年 1月28日(火)
推薦1期(公募)					
推薦2期(指定校)	12月8日(日)	12月10日(火)	一般2期	2014年 2月16日(日)	2014年 2月18日(火)
推薦2期(公募)					
卒業生子女1期	11月3日(日)	11月5日(火)	一般3期	2014年 3月9日(日)	2014年 3月11日(火)
卒業生子女2期	2014年 1月24日(金)	2014年 1月28日(火)	センター利用 1期	2014年 1月24日(金)	未定
卒業生子女3期	2014年 2月16日(日)	2014年 2月18日(火)	センター利用 2期	2014年 2月16日(日)	2014年 2月18日(火)
卒業生子女4期	2014年 3月9日(日)	2014年 3月11日(火)	試験区分	実施日	内定発表
帰国子女・外国人 留学生 1期~4期	卒業生子女と同じ		AO 2期	11月3日(日)	11月5日(火)
編入学 1期~4期	卒業生子女と同じ		AO 3期	12月8日(日)	12月10日(火)

※詳細はホームページをご覧ください

歯科衛生学科 (定員 120名 男女)		
試験区分	試験日	合格発表
推薦I期(指定校)	10月27日(日)	10月29日(火)
推薦I期(公募)		
推薦II期(指定校)	12月1日(日)	12月3日(火)
推薦II期(公募)		
一般	2014年2月2日(日)	2014年2月4日(火)
特待生推薦	10月27日(日)	10月29日(火)
社会人特別I期	10月27日(日)	10月29日(火)
社会人特別II期	12月1日(日)	12月3日(火)
試験区分	面談日	内定発表
AO 3期	11月25日(月)~12月9日(月)	12月12日(木)まで
AO 4期	個別にお知らせいたします。	

看護学科 (定員 80名 男女)		
試験区分	試験日	合格発表
推薦I期(指定校)	10月27日(日)	10月29日(火)
推薦I期(公募)		
推薦II期(指定校)	12月1日(日)	12月3日(火)
推薦II期(公募)		
一般	2014年2月2日(日)	2014年2月4日(火)
特待生推薦	10月27日(日)	10月29日(火)
社会人特別I期	10月27日(日)	10月29日(火)
社会人特別II期	12月1日(日)	12月3日(火)
試験区分	面談日	内定発表
AO 2期	12月1日(日)	12月3日(火)
AO 3期	2014年3月13日(木)	個別にお知らせいたします。

※詳細はホームページをご覧ください

さらに一般入学試験1期にて、学生納付金免除
 ※成績上位1位~10位までが対象